

1985年度 東京都優秀児童演劇選定優秀賞受賞

こぎつねコンと こだぬきポン



原作/松野正子 (童心社刊) 脚色・演出/星野 毅 美術/人見順子
音楽/堀井勝美 照明/阿部千賀子 音響効果/宮沢 緑

「こぎつねコンとこだぬきポン」への想い 脚色・演出 星野 毅

この作品は、松野正子さんの絵本を、1984年に戯曲化して以来、何回も再演を重ねてきました。私はこの作品を、大きな舞台の人形劇ではなく小回りのきく人数で、一人でも多くの皆さんに観て頂きたいと脚本を書きました。実は松野さんに上演権を頂くまでには、多少の時間を要しました。何しろ子ども同士原作を、きつねは母子家庭、たぬきは父子家庭という設定で脚本を書いたことから、松野さんの戸惑いは大に分かりました。しかし、私は、絵本の主題である、偏見や差別についての問題に大いに触発され、多くの子どもたちに観せたいとお願いし、承諾を得ました。

さて、現代の世界はどうでしょう。松野さんや私達の願いも虚しく、偏見や差別が人種、民族、宗教など止まることなく広がり、今も世界の何処かで、尊い人の命が失われています。この作品を通して今一度、人間にとって、争いのない平和な世界への構築を考える良い機会であると考えています。

つばき山のこぎつねコンはお母さんと、すぎのき山のこだぬきポンはお父さんとまだ小さい弟のポコと暮らしていました。あそぶのはいつもひとりぼっち。

「ともだちほしいなあ・・・」そんなコンとポンが、ある日とつぜん谷をへだてて出会いました。「ともだち・・・」「ともだち！」やっと出会えたともだちに、ふたりは大喜び。家に帰って母さん父さんに知らせよう「ともだちできた！」って。

ところが、母さんも父さんも大あわて、「だまされてはいけません！」・・・



やっとみつけた友だちなのに・・・
心やさしい女の子コンと、
元気な男の子ポンの
ほのぼのしたふれあい

みにみに劇場 vol.1 五味太郎

原作/五味太郎 (絵本館刊) 脚色・演出/岡本和彦
美術/佐久間弥生 音楽/吉川安志 照明/阿部千賀子

ちいさくともきらりと光る作品をお届けする「みにみに劇場」。自由でユーモラスな絵本作家・五味太郎の世界をお届けします。心がクスッとゆれ、ポツとあたたかくなる人形劇をお楽しみください。



「いっぽんばしわたる」



「さる・るるる」

公演概要

小学校体育館・小会場用上演作品
「こぎつねコンとこだぬきポン」みにみに劇場vol.1 五味太郎

- 上演時間 約1時間20分(休憩15分含む)
- 編成 キャスト4名 スタッフ1名/計5名
- 運搬 2tトラック1台/2名 公共交通機関利用 3名
- 諸経費 (上演料+交通費+車輛経費+宿泊費)+宣伝材料費

お申込み・お問合せ **人形劇団プーク**

〒151-0053
東京都渋谷区代々木2-12-3
TEL 03-3370-3371 FAX 03-3370-5120
HP <https://www.puk.jp/> mail puppet@puk.jp